



あたらしい本のしょうかい

斜里町立図書館（しゃりちょうりつとしょかん） NO. 244 2025. 8

小学生
向け

1・2年生 向け

『山に登る』

ほしの ひでき しゃしん ぶん
星野 秀樹 写真・文

いったいなぜ、やまにのぼるの？ やまにのぼるのって、つらくない？ たのしいの？ ほしのさんは、やっとそのこたえをみつけました。やまのうつくしいしゃしんと、やまのぼりのみりよくをつたえるえほんです。

『地下室の日曜日』

ちかしつ にちようび
ゆめのこうきゅうマンションだ！
むらかみ しいこ 作
村上 しいこ 作

オバケのなかまたちオバケーヌといっしょに、ナゾトキにちょうせんしよう！ あたまをつかうたのしいナゾトキや、なぞなぞ、まちがいさがしがたくさん。きみは、いくつわかるかな？

『わかったさんのチョコレート』

ながい いくこ さく え
永井 郁子 作・絵

うみのいきものでいちばんおおきなクジラ。しんだらどうなるのでしょうか。うみのなかを、ゆっくりゆっくりしずんでいき、いちばんふかいところへたどりつきます。そして、たくさんのいきものたちが、クジラをたべ、いのちをつないでいくのです。

3・4年生 向け

『全国小学生おばけ手帖 [1]』

たなべ せいあ げんあん
田辺 青蛙 原案

ぜんこく 全国の小学生から集めた不思議で奇妙な幽霊のお話。だけど、怖いだけじゃなくて、ちょっとおとぼけでかわいいところもある！？ クスッと笑えるイラストだから、怖がりさんも楽しめます。

『雪女とヒミツのやくそく』

西村 さとみ 作

けいた 圭太の家はスキー客向けのペンション。ある日、圭太は吹雪の中で不思議な女の子に会った。「わたしに会ったことはヒミツだよ」と言う女の子と、おばあちゃんから聞いた雪女の話。もしかして、雪女っているのかな？

『図書館のぬいぐるみかします 3 ぼくのねがいご』

シンシア・ロード 作

ユニコーンのぬいぐるみのキラリは、図書館のブックフレンド。本のように借りられるぬいぐるみです。でも本当は誰かのぬいぐるみになりたいという願いがありました。ある日マヤという女の子が来て……。

5・6年生 向け

『どこかがおかしい 2』

ちよ
佐東 みどり 著

まい 1枚の写真。普通に見えるかもしれませんが、どこかがおかしい……。君は、どこがおかしいか気付くことができるかな？ 写真にまつわるお話を読めば、その違和感の謎が解ける仕組みになっている、謎解きミステリー × ホラー小説。

『毎日がもっとキラキラする！ はじめての推し活』

けきだんめすねこ ちよ
劇団雌猫 著

「推し」がいるけど、自分に出来る推し活ってなんだろう？ そんな時の推し活応援 BOOK が登場！ 推し活の方法やしてはいけないこと、トラブルについて知って、清く正しく楽しい推し活を！！

『もののけ diary』

きょうごく なつひこ
京極 夏彦 文

えど 江戸時代中期に誕生した「稲生物怪録」という物語から生まれた絵本。主人公の平太郎の家には、毎晩化け物がでるらしい。平太郎を恐がらせようとやってくるたくさんの妖怪と、ちっとも恐がらない平太郎とのやりとりを描いたお話。